

著作権に関する注意

本校の入試問題は著作権の対象となっており、著作権法で保護されています。
「私的使用のための複製」や「引用」など著作権法上認められた場合を除き、無断で複製・転用することはできません。

お断り

本校の入試問題中で引用した文章・文献等について、著作物保護の観点から一部掲載を控えた箇所があります。ご了承ください。

二〇二五（令和七）年度

東北学院高等学校入学試験問題

〈一般 B日程〉

国語

二〇二五（令和七）年二月三日（月）

九時～九時五十分（五〇分間）

注意事項

- 一. 受験番号・氏名を解答用紙にはっきり記入しなさい。
- 二. 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。
- 三. 解答用紙だけを提出しなさい。

一

次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

(古館恒介『エネルギーをめぐる旅』より)

問一 本文中の I } III に入る語として適切なものを次の中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

ア つまり イ また ウ ところで エ 例えば オ しかし

問二 ———部 A 「日進月歩」、B 「世知辛く」の意味として適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

A 「日進月歩」

ア 歩みが進んだり戻ったりすること
イ 思うように早く進まないこと
ウ 以前と変わらないこと
エ 絶え間なく進歩すること
オ 物事が急激に変化すること

B 「世知辛く」

ア 抜け目なく
イ 理解しにくく
ウ 暮らしにくく
エ あわただしく
オ 落ち着きなく

問三 ―― 部(1)「技術革新による問題解決への無邪気な期待」とはどのようなものですか。「〽と考えること。」に続くように、本文から二十字以上、二十五字以内の表現を探し、抜き出して答えなさい。なお、句読点も一字と数え、以下の問でも同様とします。

(本文から二十字以上、二十五字以内で抜き出し) と考えること。

問四 ―― 部(2)「大きな動物ほどゆったりとしたエネルギーの流れのなかに生きていることが分かります」と言えるのはなぜですか。それを説明した次の文の 、 に当てはまる語句を、指示に従って本文から抜き出して答えなさい。

(五字)

が大きくなると、

(十六字)

は小さくなるから。

問五 ―― 部(3)「いまや生物のひとつとしての人間の時間は、完全に引き裂かれた状態にあります」とはどういうことですか。その説明として適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 人間が、エネルギーの消費量を増やすことで生物としての時間を短縮し、激しい時間の流れに耐えられるようになったということ。
- イ 高度な現代文明を築いた人間が、自らの身体に埋め込まれた生物としての時間の流れを短縮することに成功したということ。
- ウ 大量のエネルギーを消費する人間が、自らの身体に埋め込まれた生物としての時間より激しい時間の流れを生きているということ。
- エ エネルギーを大量に消費する世の中に適合できなくなった人間が、もっとゆっくりした時間の流れを懐かしんでいるということ。
- オ 人間が、情報通信技術を急速に進歩させたため、生物としての身体と脳の発達の自然なバランスが崩れてしまったということ。

問六 ―― 部「減らす方法のヒント」について、エネルギー消費量を減らすには、どのような社会であることが求められますか。本文の語句を用いて四十字以内で説明しなさい。

二

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。なお、出題にあたって本文を改めた箇所があります。

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

(西加奈子「空を待つ」より)

問一 ——部A「鼻白んでしまう」、B「息を呑む」の意味として適切なものを、次の中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

- | | | | |
|-------------|----------|----------|-------------|
| A 「鼻白んでしまう」 | | B 「息を呑む」 | |
| ア | あきれてしまう | ア | 思いが急につる |
| イ | 笑ってしまう | イ | はやる気持ちを抑える |
| ウ | しらけてしまう | ウ | 落ち着いた気持ちになる |
| エ | さげすんでしまう | エ | 張り詰めた気持ちになる |
| オ | 恥じ入ってしまう | オ | はっとおどろく |

問二 ——部(1)「思い切って、『作品』と、打ってみた」について、ここでの「私」の心情の説明として適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 「あっちゃん」が、「私」ではなく「空の携帯電話」の持ち主に返事をしているとわかっていながらも、「あっちゃん」とのやりとりに心を支えられてきたが、「私」が何者かわかるような内容を送ったらどういう反応が来るか、不安に思いながらも試そうとしている。
- イ 「あっちゃん」が、「空の携帯電話」の本来の持ち主とやりとりをしているつもりでいると「私」は考えているが、編集者に数多くの手直しを要求された不満から、「あっちゃん」を戸惑わせるような返事を送って気晴らしをしようと考えている。
- ウ 「あっちゃん」は、「空の携帯電話」の持ち主とやりとりしている気ではあるが、「私」の置かれている状況とちようど合致している偶然に、まるで見張られているかのような気持ち悪さを覚え、身分を明かしてこの関係を終わらせようとしている。
- エ 「私」は「空の携帯電話」の持ち主ではないが、「あっちゃん」とメールのやりとりを続ける中でいつの間にか「あっちゃん」に依存し始め、「あっちゃん」により気に入ってもらうために、本来の自分以上の姿を見せようと見栄を張っている。
- オ 編集者に数多くの手直しを要求されて落ち込んでいたところに、「あっちゃん」から「私」の落ち込んでいる心情を励ましてくれるような返事をもって勇気づけられ、今取り組んでいる原稿を立派な「作品」にまで仕上げようと意気込んでいる。

問三 ———部(2)「自分以外の人の声を、久しぶりに聞いた」について、それまでの「私」はどのように生きてきましたか。「生きてきた。」に続くように、本文から三十文字の表現を探し、抜き出して答えなさい。

(本文から三十文字で抜き出し) 生きてきた。

問四 ———部(3)「いつも、『空の携帯電話』を打つとき、『あ』の文字を押すと、予測変換で『ありがとう』と文字が出てきた。私はそれを見て、たびたび胸をつかれたものだ」について、(1)予測変換で「ありがとう」という文字が出ることから、どのようなことが読み取れますか。四十文字以内で説明しなさい。(2)ここでの「私」の心情を四十文字以内で説明しなさい。

問五 ~~~~~部I~IVの表現について説明したものととして、適切なものには○、誤っているものには×で答えなさい。

ア Iの表現には、コーヒーそのものの「苦さ」に加えて、作家としての仕事がかまくいかない鬱々とした気分が反映されている。

イ IIの表現からは、「あっちゃん」を心の支えとするにとどまらず、現実から目を背けて、「あっちゃん」に依存しかけている兆候が感じられる。

ウ IIIの表現からは、「ひとりぼっちの自分」にとらわれてきた「私」が、「あっちゃん」との交流を通して変化しつつある様子が読み取れる。

エ IVの表現からは、世界に背を向けてきた「私」が、この世界のただ中で生きている存在なのだという思いを取り戻したことが暗示されている。

三

次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

著作物保護のため掲載を控えます

(上嶋鬼貫『独』より)

問一 — 部A「けふ」、B「うるはしく」を現代仮名遣いに直しなさい。

問二 — 部(1)「咲きも残らぬ」とはどのような様子を表現しているか。適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 桜が完全に散った様子。
- イ 桜が満開である様子。
- ウ 桜が咲き始めた様子。
- エ 桜が散り残っている様子。
- オ 桜がところどころ見える様子。

問三 — 部(2)「うたてし」の意味として適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 気の毒である
- イ 申し訳ない
- ウ 趣がない
- エ 嘆かわしい
- オ 落ち着かない

問四 — 部(3)「はかなし」とは、「むなし、はかない、あさはかだ」などの意味を表す語です。本文ではどのようなことについてこの語を使っていますか。適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 開花から人の心を楽しませた桜が、春の末には散ってしまうこと。
- イ 雨のために、約束していた花見ができないまま春が終わってしまうこと。
- ウ 遅い時期に咲く桜は、青葉と混じってしまうため、風情に乏しいこと。
- エ 桜は散るものだと知っていながら、来年の春を期待してしまうこと。

四 次の①～⑤の — 部のカタカナを漢字に直し、⑥～⑩の — 部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- ① エンゴの手を差し伸べる。
- ② シンボクを深める。
- ③ 悪党どもをセイバツする。
- ④ ヘイガイをもたらす。
- ⑤ 世界一の高さをホコる。
- ⑥ 会社の経営に腐心する。
- ⑦ 経済が破綻する。
- ⑧ 辛辣な言葉で批判する。
- ⑨ 傑出した人物。
- ⑩ 新しい名刺を刷る。

